

～祝100歳～ おめでとうございます



吉嶺スギさん (桜山西町)

■吉嶺スギさんが12月16日に100歳を迎えられました。広報10月号「ご長寿万歳」でも紹介しており、お体が丈夫で、若いときから味噌や蕎麦、団子づくり、さらには大根、白菜などの野菜づくりに人も一倍熱心だったそうです。



眞茅進さん (まかや町)

■眞茅進さんが1月22日に100歳を迎えられ、サザンケアセンターで祝い金や花束が贈られました。長年養豚業を営まれており、農協の理事など様々な役職も歴任されていました。この日も、お祝いの言葉に元気に応じられていました。



亀沢公民館の子どもたちが火の用心の見回り

■亀沢公民館で12月28日から30日まで防犯・防火パトロールが行われ、小学生から大人まで延べ約70人が参加しました。28日には、小学生など36人が2手に分かれ、昔ながらの拍子木(ひょうしぎ)を打ちながら地区内を回り、火の用心を呼びかけました。

火災や災害のない一年を願って

～枕崎市消防出初式

■新春恒例の消防出初式が1月11日、総合グラウンドで行われ、消防署員や消防団員など356人が参加しました。市長による観閲や分列行進が張りつめた空気の中で行われたほか、消防車や消防団の小型ポンプ車が花渡川に向け一斉に放水する放水演習も行われました。手動のポンプ車で参加したふじ幼年消防隊も、消防服を着て可愛い放水を披露しました。その後、桜山小学校金管バンドを先頭に、市中パレードが行われました。リリしく行進する姿に、沿道の市民が拍手を送っていました。また、地場センターで行われた表彰式では、ふじ幼年消防隊に特別表彰が贈られました。



▲市中パレードで行進するふじ幼年消防隊

市内剣士たちが越年稽古で汗

～投稿者 枕崎市剣道連盟 田中教文



■今年も越年稽古で新年を迎えることができました。毎年恒例となっている剣道越年稽古は、小学生から一般まで幅広い世代の剣士が大晦日の晩に集い、年をまたぎ1時間ほど稽古をします。今年は市武道館に約30名が集まり、足先の感覚がなくなるほど厳しい寒さの中、自己修練のため稽古に励みました。

参加した青野雄大くん(立神中2年)は、「寒くて思うように動けなかった。剣道をやっていないと体験できないことで、これからも参加したい」と話してくれました。



輝く未来へ！20歳の新たなスタート

～平成21年成人式

■新成人の門出を祝う成人式が1月3日、市民会館で華やかに開催され、新成人265名のほか中国人研修生からも新成人10名が参加しました。市内で仕事を頑張っている人、市外で進学・就職した人など様々で、開式前の会場前では、久しぶりの再会を喜び合う姿が見られました。式では、新成人を代表して、教員を目指す茅野瑞穂さん(立神中卒業)が決意発表を行い、「成人としての意識をしっかり持ち、感謝の気持ちを忘れず夢を持って頑張りたい」と述べました。また、中国人研修生を代表してチョウ・テイテイさんが、「仕事を頑張るで勉強し、祖国や家族に恩返ししたい」と述べていました。



▲決意発表する茅野瑞穂さん(左)、チョウ・テイテイさん(右)

今年一年の無病息災を願い矢を放つ

～正月の伝統行事「ハマテゴ」

■転がるタイダイに矢を放ち、悪魔払いをする子どもの正月行事「ハマテゴ」が1月2日、小江平公民館前の広場で行われました。

竹弓と矢を手に横一列に並んだ子どもたちが、太鼓の音を合図に目の前を転がってくるタイダイめがけ、一斉に矢を放ちます。今年は例年以上的中率がよく、見物客から「いい年になりそう」という声も聞かれました。タイダイを射た子どもたちは、矢を持ち上げて「テゴテゴ」と声をあげ、大人たちを喜ばせていました。



決勝戦で相手選手と競り合う鯨島君(市民の方提供)

鯨島晃太君も活躍し準優勝に輝く

～全国高校サッカー選手権で鹿児島城西高校が準優勝

■年末年始に行われた第87回全国高校サッカー選手権大会で、鹿児島県代表の鹿児島城西高校が歴代最多得点を記録し見事準優勝を果たしました。広報12月号でも紹介したとおり、このチームの一員として活躍したのが鯨島晃太君(妙見町)。鯨島君は鹿児島城西の全6試合のうち5試合に出場。攻守にわたり存在感を見せてくれました。

大会の感想と今後の目標について、「夢の国立の舞台に立ち、大観衆の前だったのでとても緊張した。準優勝という結果を出せたのも周りで支えてくださった方々、たくさんの方のおかげ。今後は選手権で成し遂げられなかった日本一を目指して日々の練習を大切に頑張っていきたい」と語ってくれました。



サッカー少年が交通安全を呼びかけ

～交通安全キャンペーンで寄贈されたお守りを配布

■交通安全キャンペーンが12月24日、北元石油前で行われ、枕崎キッズの子どもたち約20人が参加しました。ドライバーたちに安全を祈願する鈴が入ったお守りを手渡し、「交通安全をお願いします」と呼びかけました。

■このお守りは、本市出身で東京都在住の元木雄子さんの手作り。母親が妙見センターにお世話になっているお礼として、市に700個も寄贈していただきました。

